

SATOYAMA国際会議2013 in ぶくい スケジュール(★一般参加可能㊤)

<p>9月 8日(日)</p>	<p>★福井子ども環境教育フォーラム(12時20分～15時45分)㊤</p> <p>所 越前市文化センター 大ホール(越前市高瀬)</p> <p>註 県内外の小学校から「里地里山クラブ」の活動成果の発表等</p> <p>◇ポスターセッション(県内15校、石川県から2校)</p> <p>一乗谷川の水質・水生生物調査、コウノトリが飛来する里づくり など</p> <p>◇ステージ発表(県内5校)</p> <p>中池見・池河内湿原の調査、赤とんぼの調査、北潟湖の水質と生物調査、コウノトリを呼び戻すための冬水田んぼなどの調査、かや田に棲む希少生物の保護活動</p>
<p>9月 9日(月)</p> <p>9月10日(火)</p>	<p>里山STAY 所 県内17市町</p> <p>註 外国からのIPSI-4参加者が県内各地の里山で宿泊・交流体験</p> <p>農林漁業やそば打ちといった伝統食づくりなどの体験を通し、地域との交流を深める。</p>
<p>9月11日(水)</p>	<p>★全国「里の達人」サミット(13時30分～17時30分)㊤</p> <p>所 恐竜博物館(勝山市村岡町)</p> <p>註 講演、国内で里山の保全再生に取り組む先駆者たちによる事例発表、パネルディスカッション</p> <p>◇基調講演</p> <p>「都市と農村との共生時代を切り拓く『里の達人』」 東京農業大学 名誉教授 進士 五十八氏</p> <p>◇事例発表(6団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コウノトリの郷づくり推進会(小浜市)「コウノトリがよみがえる地域づくりをめざして」 ・山田兄弟製紙(株)(越前市)「SAVE THE 鶴殿ヨシ原」～今、越前和紙に出来ること～ ・金沢大学里山里海プロジェクト(石川県金沢市)「里山里海マイスターが能登半島を元気にする」 ・NPO法人山野草の里づくりの会(奈良県桜井市)「手作りで始めた山野草の里づくりの歩み」 ・北杜市オオムラサキセンター(山梨県北杜市)「オオムラサキが教えてくれる里地里山の活用と教育」 ・西条・山と水の環境機構(広島県東広島市)「西条酒造協会が始めた緑と水を守る運動と山の日の制定」 <p>◇パネルディスカッション</p> <p>「里地里山が導く、教育、観光、産品、燃料、人づくり地域づくり」</p>
<p>9月12日(木)</p>	<p>エクスカージョン 所 越前市白山地区、三方五湖</p> <p>レセプション 所 あわら市内</p>
<p>9月13日(金)</p>	<p>IPSI-4本体会合(総会、公開フォーラム)</p> <p>★公開フォーラム(午後)㊤</p> <p>所 県国際交流会館 多目的ホール(福井市宝永)</p> <p>註 里地里山の活動に関連する団体との協力を探り、戦略に基づいた今後の活動計画などを、複数のグループに分かれて検討・議論</p>
<p>9月14日(土)</p>	<p>★公開フォーラム(午前)㊤</p> <p>★県民シンポジウム(14時30分～16時30分)㊤</p> <p>所 県国際交流会館 多目的ホール(福井市宝永)</p> <p>註 IPSIメンバーと一般参加者が一緒になり、会合の成果を確認し、国内外に発信する</p> <p>◇会合の成果報告</p> <p>IPSI-4議長(国連大学上級副学長)武内和彦氏</p> <p>◇基調講演 福井県知事 西川一誠</p> <p>◇パネルディスカッション(出演者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京大学大学院農学生命科学研究科教授 鷲谷いづみ氏 ・東京大学大学院総合文化研究科准教授 吉田丈人氏 ・中部大学教授、コラムニスト ジョン・ギヤスライト氏 ・福井県副知事 杉本達治 ほか <p>◇ポスターセッションの表彰式 等</p> <p>ポスターセッション</p> <p>所 県国際交流会館</p> <p>註 国内外の環境団体等が日頃の活動をポスターで紹介</p>

★一般参加申込締切:8月31日(土)まで

※IPSI : SATOYAMAイニシアティブ 国際パートナーシップ
IPSI-4 : IPSI第4回定例会合



越前市坂口地区の田園風景(提供:越前市エコビレッジ交流センター)

国際会議を福井で開催

里山はその豊かな恵みで住民たちの暮らしを支え、そのことが、世界中の様々な地域におけるそれぞれの文化を生み出してきました。里山の貴重な役割について考え、守っていくという国際会議が3年前に発足。

② SATOYAMA国際会議2013 in ぶくい

名古屋、ナイロビ(ケニア)、ハイデラバード(インド)に続き、今年も福井県で開催されます。福井県には、山、田んぼ、川、湖、海などの豊かな自然があり、そこで育まれた美味しい食、培われた民俗文化があります。県では、国際会議を含む1週間を「SATOYAMA国際会議2013 in ぶくい」と位置づけ、9月8日(日)か



たたき網漁(三方五湖)

ら14日(土)まで、里山保全・活用に関係する様々なイベントを開催します。本県ならではの里山・里湖の魅力に触れながら、これからの里山保全について考えるよい機会です。一般参加が可能なイベントも多数ありますので、ぜひご参加ください。

里山について考えよう

9月8日(日)から始まる「SATOYAMA国際会議2013 in ぶくい」を通じ、世界各地との新たな連携や



活動の幅が広がることを期待されます。12日(木)のエクスカージョンは、本県国際会議では初めての試みです。会議の参加者が、越前市白山地区と三方五湖の現地を視察し、本県の豊かな自然と住民の熱意を直接感じていただきます。この1週間は、県内の活動だけでなく、県外や国外の活動を知り、本県の里地里山が抱える課題について考える契機ともなります。本県の世界に誇れる里地・里山・里海湖の魅力を広くアピールするとともに、次の世代に豊かな自然を引継いでいくために何ができるかを一緒に考えましょう。

環境政策課
0776-200362



池河内湿原(敦賀市)

※SATOYAMAイニシアティブとは

人間の営みにより長い年月にわたって維持されてきた「里地里山」。世界各地の里地里山の保全・活用を実現していくための取組みが「SATOYAMAイニシアティブ」です。

※IPSIとは

「SATOYAMAイニシアティブ」の取組みを国際的な規模で進めるための組織が「SATOYAMAイニシアティブ国際パートナーシップ(IPSI)」です。